

菅江真澄の足跡をたどって、東北を再発見してみませんか？

1. 東北・北海道を歩いた博学の旅人・菅江真澄

- 菅江真澄(1754~1829)は江戸時代後期の紀行家で、生まれ故郷の三河の国から、北陸、東北、北海道各地をめくり歩きました。
- そのうち最も長く滞在したのは秋田で、76歳で仙北郡で亡くなるまで29年間過ごしました。
- 男鹿のなまはげを最初に記録にとどめた人であり、その記録が基になって、なまはげは国の重要無形民俗文化財に指定されました。
- 民俗学の創始者の一人である柳田国男は、真澄を「民俗学の先覚」と呼んでいます。
- 200冊以上に及ぶ菅江真澄の著作のうち、秋田藩の藩校「明德館」に納められた77冊12帖は国の重要文化財、46帖は秋田県有形文化財に指定されています。



【なまはげ】(「男鹿の風流」より) / 秋田県立博物館蔵写本より



菅江真澄内海路(近代印刷複製)



菅江真澄 奥州・三河からの旅の足跡

2. 200年前の東北を美しく描いた菅江真澄の図絵

真澄は行く先々で見聞した、風景・民俗・産物・歴史・伝説等様々な事柄を記録し、残された図絵は2,500枚にもなります。

「十和田湖」(とわとこ)

現在 真澄の絵

「有珠山」(うずまき)

現在 真澄の絵

「白神山」(しろかみさん)

現在 真澄の絵

「鷲山」(おそれさん)

現在 真澄の絵

「鳥海山」(とりうみさん)

現在 真澄の絵

「磐手山」(いわてさん)

現在 真澄の絵

※掲載している菅江真澄の図絵は秋田県立博物館蔵の写本です。

3. 道の駅を拠点に、その周辺にある足跡を探訪してみませんか？

秋田では道の駅において、その周辺の菅江真澄の足跡と観光情報を提供する展示を行うとともに、足跡を探訪するためのリーフレットを配布しております。また、専門家による「菅江真澄の足跡」を紹介するボランティアガイドを、期間限定で実施している道の駅もあります。

菅江真澄の人物像や詳しい足跡、ボランティアガイドの日程や場所については「菅江真澄の足跡と秋田・再発見」のホームページをご覧ください。
URL <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/etc/masumi/index2.html>

道の駅「てんのう」・道の駅「しょうわ」

日本海の豊漁が打ち響く男鹿半島の海岸線、海に沈む夕陽は必見です。「てんのう」「しょうわ」などの駅行事も見逃せません。

展示パネル リーフレット集

展示パネル(道の駅「てんのう」) リーフレット集

道の駅「ふたつい」

世界遺産・白神山塊がすぐ目の前にあるこの道の駅は自然豊かな地域です。各種のオホシロギや日本一の高さを超える天然杉林も見所のひとつ。

展示パネル リーフレット集 リーフレット集

真言宗山田大仏閣「モリトピア」

花の百名山・真言宗山田大仏閣、小文蔵などの大仏閣が堪能できます。

展示パネル

道の駅「湧水の里・鳥海郷」

東北を代表する霊峰鳥海山、その沢水に潤まれる湧水の景です。日本の海沿道に選ばれた湧水の海は必見。

展示パネル リーフレット集

展示パネル リーフレット集

道の駅「松崎」・仙宮資料センター

難波田がある「おほらびの庄」(松崎)、松と武家屋敷が有名な内館、日本一の深さを誇る御沢湖と、国道46号沿線は見所が豊富。

展示パネル(道の駅「松崎」) リーフレット集 リーフレット集

道の駅「雁の里せんなん」

冬の秋田を代表する雁の里のせせらぎ、湧水の響・九郎(日本老水石造りのひとつ)、雁の里の夜古戦場跡は道の駅のすぐ近くです。

展示パネル リーフレット集 リーフレット集

秋田県立博物館 菅江真澄資料センター

菅江真澄の創刊と資料収集を目的に作られたもので、真澄の足跡紹介、真澄の書や日記の写本など展示資料は豊富です。真澄について詳しく知りたい人には真澄の物語です。

URL <http://www.akita-c.ed.jp/takubutsu/masumi.htm>

展示パネル リーフレット集

